

## 第71回一般質問一覧表

1.12.18

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
1	村岡栄紀	「危険・困った空き家」解決への取組を	<p>①本市においては 815件の空き家が見つかっており、そのうち老朽判定で見つかった老朽化が進んだ空き家が 113件あり、調査後すぐに61件が解体されたことが、他市ではあまり前例がないということだが、その要因をどのように分析しているのか。</p> <p>②危険な空き家の中で16件がまだ解体されていないが、その理由は、また、解体誘導に向けての本市の取組は。</p> <p>③判定 100点以上の危険な空き家で、まだ解体されていない物件が16件に関して、なぜこれらの空き家は特定空家等候補であり、特定空家等ではないのか。</p> <p>④一級建築士の正確な調査を経て、「危険な空き家」であるという基準を満たしている物件に関しては、よりスピーディに特定空家等の認定をすべきであると考えるが、個人の財産権に対する考え方も含めた市の見解は。</p> <p>⑤本市の空家等対策計画の特定空家等認定のもうひとつの 카테고리である「空家等の衛生、景観、その他生活環境保全に係る認定基準」における「衛生、景観、その他生活環境保全に係る判定」と「周辺への影響度の判定」基準における本市の空き家等の状況は。</p> <p>⑥空き家等における雑草等で、近隣の方が困っている場合において、文書にて改善を求めても、何もせずに放置されている空き家等に関しては、すみやかに特定空家等に認定するくらいの姿勢が必要だと考えるが。</p> <p>⑦近隣4市1町には空き家等対策に関する条例があるが、本市だけが条例がない。その理由を西脇市空家等対策計画との整合性も含めて市の見解は。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>⑧特措法施行の後であるからこそ、市として緊急安全措置を実施する場合や、特定空家等の認定に市民の声を反映させたり、勧告に踏み切る場合の詳細基準や方法を明確にする意味でも、市独自の空き家等対策に関する条例を制定することを要望する。</p> <p>⑨空き家バンクは「危険な空き家」にならないようにするための予防策と見ることができるが、もともと持ち主がわからない、あるいは売ったり貸したりしたくないという物件については解決できず、さらに積極的に売ったり貸したりしたい物件はすでに民間の賃貸物件検索のホームページ等に出ていることから、立ち位置が見えない部分があると思うのだが、市の見解は。</p> <p>⑩空き家を買う、賃貸するということは、生活の少なくとも一部をそこに移すということであり、移り住んで暮らしていけるか否か、不安を抱くことは当然である。なので、担当職員さんは、この不安の存在を前提として、その解消に向けて細かなサポートを行うことが肝要だと考えるが。</p>	
			<p>⑪空き家等対策は、職員さんが他の業務の片手間では決してできるものではない。だからこそ、本腰を入れて真剣に取り組めば、「危険な空き家」の予防を超えた大きな成果が期待できると考える。そういった意味で、多くの部署連携のなかで、ほとんどの職員さんが多忙な業務の中での兼任という現在の状況をどう考えるのか、市長の考えと今後の展望は。</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
2	東野敏弘	産前から産後までの一貫したケアの拡充を!	<p>母子健康手帳交付に関して (出生数が減少している中で、「西脇市の宝」である子どもの出産を市としても応援していくことが必要である。妊婦と担当保健師の最初の出逢いが、母子健康手帳の交付のときであるが、どのように配慮されているのかを問う。)</p> <p>妊婦への補助・ケアに関して (妊婦訪問指導、妊婦健康診査受診への補助の現状を問う。 また、多胎児妊婦への妊婦健康診査受診費用の追加助成について問う。併せて、医療機関との連携を問う。)</p> <p>西脇病院産婦人科に関して (西脇病院には産婦人科・小児科があり、北播磨・丹波地域において大きな役割を果たしてきている。 西脇病院産婦人科の果たしている役割と今後の取組を問う。)</p> <p>西脇市の子育て応援「はびいく」の取組に関して (妊娠・出産・子育てに関する総合相談窓口である子育て応援ステーション「はびいく」が創設されて3年が経過するが、その成果と課題を問う。併せて、子育てコンシェルジュの役割を問う。)</p> <p>「プレママ・パパのつどい」・「孫育て講座」の取組に関して (西脇市では「プレママ・パパのつどい」・「祖父母講座」が開催されているが、その成果と課題を問う。他に実施されたものがあれば、併せて問う。)</p> <p>「こんにちは赤ちゃん訪問」に関して (新生児訪問事業は、全ての新生児家庭を対象としているのか、また誰が訪問するのか等の具体的な内容と「こんにちは赤ちゃん訪問」について問う。)</p>	答弁 部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			産後うつの予防に関して (産後うつで亡くなられた女性もおられ、産後うつで苦しむ産婦が多くなっていると聞く。 産後うつの予防が大切であるが、西脇市の取組を問う。)	
			産後ケア利用助成事業に関して (「西脇市産後ケア利用助成事業」のねらいと利用実績を問う。併せて、改善への要望を把握しているのかを問う。)	
			一貫したケアを目指した子育て支援に関して (西脇市には、西脇病院といわたウィメンズクリニックに産婦人科があり、北播磨・丹波地域において大きな役割を果たしている。 産前から産後まで、子どもを産みやすく育てやすいまち・西脇市として、より施策を充実させていくことが重要であると考えるが、市長の考えを問う。)	市長
3	坂部武美	立地適正化計画・都市計画マスタープランによる野村地区の都市整備方針について	野村地区の今後の都市整備について (立地適正化計画、都市計画マスタープランに係る野村地区の都市整備の考え方は。今や野村地区は西脇市の中心。10年、20年先の野村地区をどのように整備していくのか。 ・居住誘導区域B、都市機能誘導区域Bの位置づけによる整備 ・道路ネットワークに係る整備 ・西脇市駅周辺の整備 ・その他、河川等に係る環境整備等)	市長
			個別の整備方針について (①道路整備の方針は。 西脇明石線、野村西工線等 ②西脇市駅周辺整備の方針は。 交通計画、駅裏開発、西脇市駅を活用したまちづくり等も含めて ③自然環境(水、緑、景観)整備の方針は。 加古川、野間川、大池の活用等)	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
4	寺北建樹	ペット同伴の避難所について	ペット同伴の避難所はあるのか？	部長
			必要性は認識しているのか？	市長
			設置するための条件は何なのか？	
		18歳以下の国保税均等割の減額免除について	18歳以下の国保税均等割の減額免除に必要な金額は？	部長
			県との関係で不都合が生じるのか？	市長
			子育て支援策の一環として考えるべきではないか？	
		高設栽培用(ビニールハウス設置)農地の農業用雑種地課税に対する助成について	農業振興助成金交付規程の見直しの内容は？	部長
課税の種類の違いに代わる支援策の検討は行ったのか？				
	改めて支援策として助成を行うべきではないか？	市長		
5	近藤文博	公共施設等総合管理計画の進捗状況について	公共施設等総合管理計画の公表から現在までの進捗状況は？ (決定している施設も含め、計画時と比して、延べ床面積 252,115㎡、施設数 115か所が具体的に縮減・複合化による更新・長寿命化で現在どこまで進展しているのか？特に大きな割合を占める市営住宅と学校についてはどのようなになっているのか？)	部長
			西脇市の全ての施設を今後40年間保有する場合、総務省の試算ソフトで見積もると、40年総額で約 1,020億円(年平均25.5億円)、現在の年間投資費用の 2.5倍となる。 (本市の計画では、今後の30年間にわたり既に決定している新庁舎・市民交流施設も含めて、公共施設の総量(延べ床面積)のうち4割を縮減するとなっているが、具体的な10年ごとの数値目標と第一段階の令和2年度までのアクションプランは？)	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			計画を進めるにあたって、先進市では個別施設の過去からの管理コスト・修繕実績・利用人数・稼働率等の情報を一元管理している。 (西脇市はこの公共施設等総合管理計画を現在どのような体制で取り組んでいるのか?)	
			現在の西脇市の取組体制では、先進市との差が大きいと思うが、市長の考えは?	市長
6	林 晴信	夢のある R175 バイパス整備	R175 バイパスの進捗を聞く。	部長 技監
			西脇市では、令和5年度、西脇北バイパスの完成を目指していると認識しているが、もう少し早くなる予測は?また、その条件は?	
			バイパス高架下の利用について、まずどういう条件が必要か?	
			まちづくりの一環で、若者が使える施設として利用できないか?	部長 技監 市長
			津万地区自治協議会や西脇市に住む若い人たちが利用についてのワークショップを。 (どう使うか、市民大会議で。)	市長
		放置自転車と循環型社会ーサイクルはリサイクルでー	西脇市では、放置自転車をどのように扱っているのか。 (フローを示してください。)	部長
			処分した台数は? (直近5年間くらいで。増えているのか、減っているのか。)	
			リサイクル事業として放置自転車を扱う考えは?	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
7	村井正信	高齢ドライバー支援について	<p>高齢者の自動車事故が大きく報道され、高齢者の免許証返納問題が大きく取り上げられています。</p> <p>しかし、内閣府発表の警察庁統計を見ますと、死亡事故第1当事者で1番多いのは16～19歳の若者層です。次に多いのが80歳以上の高齢者です。</p> <p>筑波大学の市川教授が実施された免許証返納による健康への影響調査によると、「運転をやめて家族の送迎に頼った人」は「運転を続けた人」に比べて、“要介護となるリスク”が2.16倍に上がることが分かったと発表しています。免許証返納は、高齢者の引きこもりや健康悪化の助長にもつながりかねないということです。</p> <p>自治体としてなすべきは、むしろ高齢ドライバーへの安全運転のための技術指導や自動車への安全対策を含む支援ではないでしょうか。</p>	
			<p>事故数と高齢者の事故の割合 (令和元年の件数(平成28～30年は報告済))</p>	部長
			<p>免許証返納だけで事故を防ぐという考え方、すなわち「運転してはいけない社会」から安全運転を心掛ける「運転してもいい社会」づくりを目指すべきと考えますが、市長の考えをお聞きします。</p>	市長
			<p>シルバー・ドライブ・チェックの実施 (ドライブレコーダーを活用した70歳以上の高齢運転者の安全運転診断で、交通安全教育専門員が、運転者本人と一緒に、映像を見ながら安全運転のポイントをアドバイスするというもの。)</p>	部長
			<p>県が実施している「高齢運転者事故防止対策事業補助金」の西脇版の新設を。</p>	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
		<p>昨年改正の水道法について</p>	<p>昨年10月水道法が改正されました。主な内容は、自治体が水道施設を保有しながら運営権を民間に20年間売却するコンセッション方式の導入ができるというものです。政府は民間のノウハウや技術でサービス向上などのメリットが期待できるとしてはいますが、水道は市民の生活や経済活動を支える重要なライフラインで、すべての市民が安全かつ低廉で水を使用し、生活を営む権利に関わる重要な問題です。</p> <p>私は、水道事業は西脇市で経営し続けるべきと考えていますが、市長はこの水道法改正についてどういう考えをお持ちなのか、見解をお聞きします。</p>	<p>市長</p>